

首都大学東京 学士課程教育

「卒業の認定に関する方針」及び「教育課程の編成及び実施に関する方針」

プログラムの名称： 健康福祉学部理学療法学科

1. 卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー：DP）

（1）取得できる学位

学士（理学療法学）

（2）取得できる資格

理学療法士国家試験受験資格

（3）育成する人材像

理学療法には医療分野をはじめとし、地域、予防・健康増進、スポーツなどの幅広い分野での活躍が求められています。そのため、本学科では理学療法の専門知識・技術を身につけることは勿論のこと、保健・医療・福祉の幅広い専門知識を身につけ関係職種との連携ができる専門職、地域社会および国際社会に貢献できる専門職の育成を目指しています。さらに、理学療法士の資格を取得した後も、理学療法の知識・技術の発展に資するために継続した自己研鑽ができる人材の育成を行っています。

（4）プログラムの特色

理学療法は幅広い分野での実践を社会から期待されています。こうした現状を踏まえ、様々な分野で、質の高い理学療法を提供できる専門職として社会に貢献するために必要な、専門知識と技術の基本を学ぶことができるプログラムを提供しています。1年次から、理学療法の基礎を成す、解剖学、生理学、運動学などを含む基礎医学分野および基礎理学療法分野を学修します。2年次以降は、その基礎知識をさらに高めるとともに、解剖学実習や臨床医学および臨床理学療法学の科目の学内における講義・演習、実習および学外の臨床実習によって、理学療法の基本的な評価・治療の理論的背景と技術、筋・骨格系、中枢神経系、神経・筋系、心肺系、代謝系などに分類される多様な対象疾患に対する理学療法、小児や高齢者など多様な対象者に対する特徴的な理学療法、さらに、医療・保健・福祉やスポーツといった各分野における理学療法の役割について学修します。これらの専門知識と技術を効率よく習得できるように、それぞれを専門分野とする教員が講義・演習、実習を通して最新の知識・技術を提供しています。臨床実習前には、OSCE(Objective Structured Clinical Examination：客観的臨床能力試験)または臨床実習で求められる評価・治療技術を確認する実技試験を実施し、臨床実習が安全かつ効果的に行えることを確認しています。

（5）獲得すべき学修成果

①分野固有の知識・理解及び技術

a) 基礎医学分野

解剖学、生理学、病態学、生化学の知識を修得する。

b) 臨床医学分野

整形外科、神経内科学、精神医学、内科学、脳神経外科学、小児科学、医療臨床心理学、リハビリテーション医学の知識について習得する。

c) 基礎理学療法学分野

基礎理学療法学、運動学、機能・能力診断学の知識及び技術について習得する。機能・能力診断学実習および臨床実習を通じてその知識技術を応用できる。

d) 臨床理学療法学分野

筋・骨格系理学療法学、理学療法機器技術学、中枢神経系理学療法学、日常生活活動学、臨床運動学、理学療法研究法、神経・筋系理学療法学、心肺系理学療法学、物理療法学、徒手技術学、徒手技術学、小児理学療法学、義肢装具学、高齢者理学療法学、地域理学療法学、生活環境学、職業倫理職場管理学の知識及び技術を習得する。総合臨床実習を通じて総合的知識技術を応用できる。

②当該分野以外においても普遍的に有用性を持つ能力

a) コミュニケーション能力

自らの考えや疑問を相手に分かり易く伝えるとともに、ほかの医療関係職種との議論を通して協調しながら理学療法を行うことができる。

b) 情報活用能力

情報通信技術を用いて、医療における情報を収集・分析し、効果的かつ正しく活用することができる。

c) 総合的問題思考力

持っている知識、能力等を総合的に活用しながら、多角的な視点から物事を思考し、対象者の医療的問題の本質を見極め、それに取り組むことができる。

d) 論理的思考力

論理的展開を的確に理解し、自らの考えを論理的に組み立てることができる。

e) 能動的学修姿勢

自ら解決すべき問題・課題を見つけ、それに取り組む姿勢を備えている。

f) 倫理観、社会的責任の自覚

医療職としての高い倫理観を持って、社会に対し主体的に関与する責任を自覚している。

g) 異なる文化・社会への理解

異なる文化的背景を持つ人・国・地域・社会等への理解を深める。

(6) 卒業要件

卒業要件は、上述した育成する人材像及び獲得すべき学修成果を踏まえ、卒業に必要な単位数及びその内訳並びにその他の要件を定めるものとする。

理学療法学科を卒業するには、都市教養科目群及び共通基礎科目群は必修・選択必修科目として24単位以上、専門教育科目群は必修・選択必修科目として91単位以上、計128単位以上を修得することが、卒業(学位の学位取得)に必要です。本学在学生在が卒業要件を確認する場合は、必ず入学年度発行の履修の手引きを参照すること。

科目区分		卒業要件			
都市教養科目群	基礎教育科目	必修	10 単位	24 単位	128 単位以上
	都市教養プログラム	選択必修	14 単位		
共通基礎教養科目群	共通教養科目				
	理工系共通基礎科目				
専門教育科目群	理学療法学科の科目	必修	91 単位	91 単位	
	自由科目				

※卒業研究を履修しない場合は、指定科目 6 科目の中から 4 科目を履修すること。

2. 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー：CP）

（1）専門教育における学修成果の確保のための科目編成・教授法・学修方法・学修過程・学修成果の評価の在り方等の基本的考え方

① 分野固有の知識・理解及び技術

理学療法学科では、卒業時に理学療法士国家試験受験資格が取得できるようにカリキュラムが構成されています。

1 年次には、幅広い教養を習得するため、都市教養科目を 14 単位以上履修することが推奨されています。専門教育に資するため、医療統計学、リハビリテーション概論、人間発達学を必修とし、保健医療概論、移動の人間工学、教育学についても推奨科目としています。また早期に医療専門職としての意識を高めるため、解剖学、生理学、運動学等の専門教育科目を配置して必修科目としています。

2 年次では、専門教育科目のうち基礎医学科目、臨床医学科目を必修とし、さらに基礎理学療法科目として基礎理学療法学、運動学、機能・能力診断学を学びます。この学年の最後に、それまでの学修成果を応用するために、病院などの医療機関にて 3 週間にわたって機能・能力診断学臨床実習を履修します。

3 年次では、2 年次までの基礎医学、臨床医学の知識、機能・能力診断学臨床実習の経験に基づき筋・骨格系理学療法学、理学療法機器技術学、中枢神経系理学療法学、日常生活活動学、臨床運動学など臨床的科目についてその知識だけでなく実践的技術について学びます。この学年の最後に、それまでの学修成果を応用するために、病院などの医療機関にて 8 週間にわたって総合臨床実習Ⅰを履修します。

4 年次の前期には、引き続いて 8 週間の総合臨床実習Ⅱを履修し、これまでの知識と技術の融合を目指します。総合臨床実習修了後、その実習において体験した臨床課題をもとに、卒業論文のテーマを選択し、卒業論文作成に取り組みます。論文作成と同時に国家試験への準備として自主的に過去問の解析を行い、国家試験に向かって模擬試験等を用いながら学修します。

② 当該分野以外においても普遍的に有用性を持つ能力

基礎医学、臨床医学、および理学療法学の専門教育を通して、それに取り組む能動的学修姿勢を身に付けるとともに、これらの課題を研究する過程で医療職としての論理的思考力を鍛え、基本的な医療関係の知識を活用して問題解決を探る総合的思考力を育成します。また、対象となる様々な障害、疾病の情報を収集・分析することによって臨床的応用能力が身に付くとともに、医療職としての倫理観、社会的責任を自覚できます。基礎ゼミ、演習などの少人数教育では、特に他者との議論を通して

自らの考えを伝え、他者と協調して作業を行うことができるコミュニケーション能力が身に付きます。

学修成果の評価は、筆記試験、プレゼンテーション評価、レポート課題評価、実技試験、客観的な臨床能力試験（OSCE）等を多元的に実施しています。特に、理学療法セミナーで実施している OSCE では地域在住の高齢者や障がい者を有する皆様に模擬患者としての参加を頂いています。

また、GPA（Grade Point Average）制度を実施し、優秀学生の選出、GPA 2.0 未満の学生の学修支援、留学等の備えに活用しています。さらに、科目ナンバリングを導入し、体系的なカリキュラムを具体的に示しています。

能動的学修姿勢は、問題基盤型学習（Problem-based Learning: PBL）を専門基礎科目、理学療法専門科目の演習・実習で適時実施しています。特に理学療法セミナーでは、症例スタディを通じ提示された症例の問題点を ICF（International Classification of Functioning, disability and Health 国際生活機能分類）で抽出し、ゴール設定とプログラムを立案する課題を少人数での PBL 形式で実施しています。また、臨床実習参加前に評価法、治療法、介助法等、実習前に修得すべき手技等の講習会を学生が学年を越えて自主開催しています。下級生に上級生が指導したりすることで能動的学修姿勢が促進されています。

上記の能力を統合した研究能力は、理学療法研究法と卒業研究により育成されます。臨床実習の体験や日常の研究疑問をもとに研究テーマを設定し、調査・研究、結果解析、考察、まとめを行います。さらに、ポスター作成と口頭および論文発表を行い、研究成果公開のための知識・技能を習得します。これらの過程を通じて、理学療法士として、また、研究職として備えておくべき研究能力が涵養されます。

（2）専門領域における学修成果と授業科目の対応表（カリキュラム・マップ）

各々の学修成果が主にどの授業科目によって修得できるかをカリキュラム・マップ（別表）に示します。また、別表 1 の右欄には、専門科目等の大まかな分類が示されています。

（3）全学共通教育における学修成果の確保のための履修要件・履修指導等の基本的考え方

○基礎ゼミナール

課題発見から、調査、討論、プレゼンテーションまで、少人数制（24名程度）のクラスに分かれて学問の技法を修得するため、1年次前期に必修としています。コミュニケーション能力、総合的問題思考力、能動的学修姿勢の修得ができます。

○言語科目

話す、聞く、読む、書く、の4つのスキルを、レベル別クラスで反復して学修することによって実践的な英語を修得するために、1年次前期から2年次後期までに実践英語4単位および医療英語2単位を必修としています。これらの科目によって言語の基礎的な知識を修得するだけでなく、異なる文化・社会を理解できる能力を身に付けます。

○情報教育

パソコン活用能力だけでなく、情報収集、編集、表現、発信など、課題解決型の授業によるITスキルの実践的能力を身につけるため、1年次前期に「情報リテラシー実践Ⅰ」を必修とし、情報活用能力や情報倫理に関する知識を修得します。

○教養科目・基盤科目

理学療法学科では、医療統計学、リハビリテーション概論、人間発達学を1年次の必修科目としています。保健医療概論、移動の人間工学、教育学についても推奨科目としています。また、幅広い教養を身に付け、総合的な思考力や問題解決能力を育成するとともに、多角的な視野を持つことを目的

として、教養科目、基盤科目から合計14単位取得することを卒業要件にしています。

(平成25年度以降の科目群の名称を記載)

(4) 年次進行要件

- ① 1年次から2年次に進級するためには、1年次に配置されている専門教育科目の必修科目をすべて履修していることが必要である。
- ② 2年次後期の機能・能力診断学臨床実習に参加するためには、2年次後期までに1年次および2年次に担当された専門分野の必修科目を原則としてすべて履修していることが必要である。
- ③ 総合臨床実習Ⅰ(3年次後期)に参加するためには、3年次後期までに3年次までに担当された専門分野の必修科目を原則としてすべて履修していることが必要である。
- ④ 総合臨床実習Ⅱ(4年次前期)に参加するためには、総合臨床実習Ⅰを含む専門分野の必修科目を原則としてすべて履修していることが必要である。

健康福祉学部理学療法学科カリキュラム・マップ

■ 専門教育科目

提供	a.科目群 (基礎科目群)	b.授業科目名	c.ナンバリングコード	獲得すべき学修成果 (d.+ e.)										
				d.知識・理解及び技術		e.普遍的に有用性を持つ能力								
				専門分野の基本的な知識・理解及び技術	幅広い教養としての知識・理解	コミュニケーション能力	情報活用能力	総合的問題思考力	論理的思考力	能動的学修姿勢	倫理観、社会的責任の自覚	異なる文化・社会への理解		
				1年次からの系統的な専門分野の学習、および臨床実習、卒業研究を実施することにより、卒業時に理学療法士国家試験受験資格が取得できる。	基礎医学、臨床医学、および理学療法学の専門教育を通して、それに取り組む能動的学修姿勢を身に付けるとともに、これらの課題を研究する過程で医療職としての論理的思考力を鍛え、基本的な医療関係の知識を活用して問題解決を探る総合的な思考ができる。	自らの考えや疑問を相手に分かり易く伝えるとともに、ほかの医療関係職種との議論を通して協調しながら理学療法を行うことができる。	情報通信技術を用いて、医療における情報を収集・分析し、効果的かつ正しく活用することができる。	持っている知識、能力等を総合的に活用しながら、多角的な視点から物事を思考し、対象者の医療的問題の本質を見極め、それに取り組むことができる。	論理的展開を的確に理解し、自らの考えを論理的に組み立てることができる。	自ら解決すべき問題・課題を見つけ、それに取り組む姿勢を備えている。	医療職としての高い倫理観を持って、社会に対し主体的に関与する責任を自覚している。	異なる文化的背景を持つ人・国・地域・社会等への理解を深める。		
1	健康福祉学部	専門教育科目	医療英語a	HPT-21-1	病気に関連する必要な英単語を学び、獲得することができる。講義やアクティビティにより、リーディング、ライティング、リスニング、スピーキングのスキルを向上することができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	健康福祉学部	専門教育科目	医療英語b	HPT-21-2	口頭でのコミュニケーション、リスニングスキルの向上、語学力の向上、医療現場での適切かつ正確な表現の使用できる。また、医療現場での医学英語の使用に対する自信を深め、留学生とのコミュニケーションを図ることができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	健康福祉学部	専門教育科目	運動学 I	HPT-11-1	運動学の基本概念・身体メカニズムを骨・関節・筋・神経系からなる運動器を主体に学習し、さらに運動解析・運動発達過程などを理解することを授業目標にする。			○	○					
4	健康福祉学部	専門教育科目	解剖学 I	HPT-12-1	骨の基本構造、各骨における形態特徴および各部位の名称を説明することができる。骨連結(関節・靭帯・筋膜)の形態構造を説明することができる。各筋(腱)の附着部・走行と働きを説明することができる。			○	○					
5	健康福祉学部	専門教育科目	解剖学演習	HPT-13-1	理学・作業療法学科の対象となる患者には中枢神経疾患も多く、その基礎的知識を習得する。神経系の一般構造および中枢神経系の発生について、説明することができる。大脳・間脳・脳幹・小脳・脊髄の基本構造と機能を説明することができる。神経伝導路の基本原則を説明することができる。脳神経・脊髄神経(自律神経を含め)の分類・局在・走行およびその働きを説明することができる。			○	○					
6	健康福祉学部	専門教育科目	生理学 I	HPT-14-1	人体を構成している諸器官・臓器の正常な機能とそれらの調節・制御機構(主に動物性機能)を理解し、最終的には自然科学の目から統合的に人体を把握できる。			○	○					
7	健康福祉学部	専門教育科目	生理学演習	HPT-15-1	人体を構成している諸器官・臓器の正常な機能とそれらの調節・制御機構(主に植物性機能)を理解し、最終的には自然科学の目から統合的に人体を把握できる。			○	○					
8	健康福祉学部	専門教育科目	運動学 II	HPT-23-1	運動学 I に引き続き、理学療法・作業療法の基礎となる運動学の各論について学ぶ。			○	○					
9	健康福祉学部	専門教育科目	解剖学 II	HPT-24-1	人体の各内臓系の構成を説明することができる。各内臓系の臓器の位置、周囲臓器との配置関係を説明することができる。各臓器の構造特徴および関連機能を説明することができる。			○	○					
10	健康福祉学部	専門教育科目	解剖学実習	HPT-25-1	骨学実習：各骨の各部位につけられている名称および関連する筋・神経・血管の分布走行、各骨がどのような関節を作っているかを説明することができる。組織学実習：顕微鏡解剖学的にみられる組織像を、筋骨格系、神経系、或いは特定の臓器であることを併列することができる。動物解剖学実習：神経系・筋骨格系・内臓系におけるヒトとの比較を説明することができる。人体解剖学実習：脳・脊髄を含む神経系、筋系、内臓系の主な臓器を概観的に説明することができる。			○	○			○		
11	健康福祉学部	専門教育科目	生理学実習	HPT-26-1	実験科学の方法論に基づいて、自ら実験を行い結果を解析して現象の原理を考察する体験を行うことで、分析的・論理的な自然科学の基本的思考過程を涵養することを目的とする。更に行った実験の概要を他人が読んで理解できるように、実験内容を文章によって再構築して報告書として取りまとめることができる能力の涵養も目指す。			○	○					
12	健康福祉学部	専門教育科目	生理学 II	HPT-41-1	理学療法士・作業療法士に求められる生理学の知識と生理学的、薬理学的視点を修得し、臨床現場で応用できる能力を獲得することができる。			○	○					
13	健康福祉学部	専門教育科目	生活支援環境学	HPT-48-1	快適な環境の基礎知識について安全性や機能性の面から、理学療法士・作業療法士として生活や移動動作を支援する立場から物理的環境についての理解を深めることができる。			○	○				○	
14	健康福祉学部	専門教育科目	保健医療臨床心理学	HPT-17-1	臨床心理学の対象と方法から、保健・医療・福祉などの場面で必要とされる心理学的知識と、その実践場面を想定し、対人交流の仕方から医療場面における自己に関する理解を深めることができる。	○	○	○	○				○	
15	健康福祉学部	専門教育科目	感染・免疫学	HPT-18-1	感染症の成立に関わる3つの因子(病原性微生物・感染経路・人の感染抵抗性)について、感染症学、及び免疫学の基本知識を理解し、身体が持つ感染症に対する抵抗性のメカニズムの概略を理解することができる。			○	○					
16	健康福祉学部	専門教育科目	関係法規(理学・作業)	HPT-19-1	変化する医療現場において、自らの業務の在り方を考えるためには、医療の理念や、医療を提供する施設・人に関する制度、医療従事者等の業務内容などについて規定する法規を概観し、理解すること、それらの法規の医療全体における位置付けを理解することができる。	○	○	○	○				○	
17	健康福祉学部	専門教育科目	生化学	HPT-110-1	生命活動に必要な物質の機能と、それらの代謝機構を理解することができる。			○	○					
18	健康福祉学部	専門教育科目	薬理学概論	HPT-111-1	生理学・生化学の基礎知識をふまえて、薬物の作用発現のメカニズム(作用機序)と生体との相互作用について概説できる。			○	○					
19	健康福祉学部	専門教育科目	精神医学 I	HPT-112-1	各種の精神障害において、どのような精神症状が出現するのか、どのような経過をたどるのか、またどのような原因が関係するとかんがえられているのか、について理解することができる。	○		○	○					
20	健康福祉学部	専門教育科目	公衆衛生学	HPT-27-1	公衆衛生学が人間集団の健康生活を支える予防的な活動分野であること、人々の健康・生活状態に対応して常に発展しつつあることを理解し、主要な活動内容について理解できる。さらに、集団の健康について普段から意識する態度を身につける。			○	○					
21	健康福祉学部	専門教育科目	病態学 I	HPT-28-1	疾病の原因と成立ち、その経過と転帰を、形態学的・機能的観点から踏まえて、諸疾患を体系的に理解する。			○	○					
22	健康福祉学部	専門教育科目	病態学 II	HPT-29-1	身体を構成する諸臓器・器官系統それぞれの形態学的・機能的特徴を踏まえて、そこに発生する各疾患の診断・治療・転帰の臨床病理・病態学を体系的に理解する。			○	○					
23	健康福祉学部	専門教育科目	外科学	HPT-210-1	将来、医療に携わる関係者として、外科系の患者を扱う際に必要な基本的な知識と最新の情報を理解する。			○	○					
24	健康福祉学部	専門教育科目	内科学	HPT-211-1	臨床医学的側面を基礎医学的知識(生理学・生化学)を用いて各臨床分野に応用し、その病態生理を把握する。			○	○					
25	健康福祉学部	専門教育科目	脳神経外科学	HPT-212-1	中枢神経系疾患の病態生理と治療法を学び、リハビリテーション医学への応用を考える。	○	○	○	○					
26	健康福祉学部	専門教育科目	小児科学	HPT-213-1	小児リハビリテーションを展開するうえで必要となる小児保健学、小児病学の基本的な知識を習得する。			○	○					
27	健康福祉学部	専門教育科目	神経内科学 I	HPT-214-1	神経解剖学の概要を把握し、臨床神経病学の各疾病の病態生理学を把握する。			○	○					
28	健康福祉学部	専門教育科目	神経内科学 II	HPT-215-1	神経解剖学の概要を把握し、臨床神経病学の各疾病の病態生理学を把握する。			○	○					
29	健康福祉学部	専門教育科目	精神医学 II	HPT-216-1	精神障害の経過を通して、障害を持つ患者がどのような生活を強いられるのか、人生の可能性を制限されるのか、どのように症状や障害と付き合っていくのかについて理解を深める。	○		○	○					

健康福祉学部理学療法学科カリキュラム・マップ

■ 専門教育科目

提供	a.科目群 (基礎科目群)	b.授業科目名	c.ナンバリング コード	獲得すべき学修成果 (d.+ e.)									
				d.知識・理解及び技術		e.普遍的に有用性を持つ能力							
				専門分野の基本的な知識・理解及び技術	幅広い教養としての知識・理解	コミュニケーション能力	情報活用能力	総合的問題思考力	論理的思考力	能動的学修姿勢	倫理観、 社会的責任の自覚	異なる文化・ 社会への理解	
				1年次からの系統的な専門分野の学習、および臨床実習、卒業研究を実施することにより、卒業時に理学療法士国家試験受験資格が取得できる。	基礎医学、臨床医学、および理学療法学の専門教育を通して、それに取り組む能動的学修姿勢を身に付けるとともに、これらの課題を研究する過程で医療職としての論理的思考力を鍛え、基本的な医療関係の知識を活用して問題解決を探る総合的な思考ができる。	自らの考えや疑問を相手に分かり易く伝えるとともに、ほかの医療関係職種との議論を通して協調しながら理学療法を行うことができる。	情報通信技術を用いて、医療における情報を収集・分析し、効果的かつ正しく活用することができる。	持っている知識、能力等を総合的に活用しながら、多角的な視点から物事を思考し、対象者の医療的問題の本質を見極め、それに取り組むことができる。	論理的展開を的確に理解し、自らの考えを論理的に組み立てることができる。	自ら解決すべき問題・課題を見つけ、それに主体的に関与する責任を自覚している。	医療職としての高い倫理観を持って、社会に 対し主体的に関与する責任を自覚している。	異なる文化的背景を持つ人・国・地域・社会等への理解を深める。	
30	健康福祉学部	専門教育科目	整形外科学 I	HPT-217-1	整形外科の基本事項に関して学ぶ。			○	○	○	○	○	
31	健康福祉学部	専門教育科目	整形外科学 II	HPT-218-1	整形外科分野の臨床に関して疾患ごとに学ぶ。			○	○	○	○	○	
32	健康福祉学部	専門教育科目	リハビリテーション医学	HPT-219-1	リハビリテーション医学の基本理論を学ぶ。			○	○	○	○	○	
33	健康福祉学部	専門教育科目	精神保健学	HPT-32-1	精神障害を含めた、障害者や患者を取り巻く心理・社会的な問題などについて多面的に理解する素養を身につける。								
34	健康福祉学部	専門教育科目	老年医学	HPT-33-1	高齢者診療に際し、修得するべき知識を、基礎的事項と臨床的事項に分けて学ぶ。			○	○	○	○	○	
35	健康福祉学部	専門教育科目	社会心理学	HPT-34-1	社会心理学のいくつかの研究を通して、自己と他者の関係、社会が個人に及ぼす影響など、「個人」と「社会」との多様な関わり方について学ぶ。			○	○	○	○	○	
36	健康福祉学部	専門教育科目	教育心理学	HPT-35-1	教育心理学の中でも「他者との関わり」と「学び」に焦点を当てて学ぶ。			○	○	○	○	○	
37	健康福祉学部	専門教育科目	保健医療社会学	HPT-36-1	小児リハビリテーションを展開するうえで必要となる小児保健学、小児病学の基本的な知識を習得する。				○	○	○	○	
38	健康福祉学部	専門教育科目	障害児教育論	HPT-37-1	特別支援教育への制度転換の経緯と内容及び今日的課題について理解し、各種障害の障害特性や発達の特徴について学ぶ。				○	○	○	○	
39	健康福祉学部	専門教育科目	画像診断学	HPT-38-1	理学・作業療法に必要な疾患を中心に、画像診断の基礎を学ぶ。			○	○	○	○	○	
40	健康福祉学部	専門教育科目	健康管理論	HPT-39-1	我が国の疾病構造の推移と諸外国との差を十分理解した上で、健康管理の方法について、一次予防・二次予防の立場から学ぶ。			○	○	○	○	○	
41	健康福祉学部	専門教育科目	言語聴覚治療学概論	HPT-310-1	言語コミュニケーション障害、高次脳機能障害、摂食嚥下障害の症状、発症メカニズム、生活において生じる問題について理解し、評価・訓練・援助の原則について学ぶ。			○	○	○	○	○	
42	健康福祉学部	専門教育科目	救急医学	HPT-42-1	最近のガイドラインに基づいた心肺蘇生法、ショック、意識障害、重度外傷、環境因子、感染症、災害対応等、各救急領域の学問に対する概要と対応法について学ぶ。			○	○	○	○	○	
43	健康福祉学部	専門教育科目	ケア・マネジメント論	HPT-43-1	ケアマネジメントについての歴史、概念、基本的技術に関する知識について学ぶ。			○	○	○	○	○	
44	健康福祉学部	専門教育科目	リハビリテーション工学	HPT-414-1	リハビリテーション工学とは、工学をリハビリテーションに活用する学問の総称である。この授業では、生活支援ロボット、医療ロボットなどを題材として、工学とセラピストの関わりを学ぶ。			○	○	○	○	○	
45	健康福祉学部	専門教育科目	臨床心理学演習	HPT-45-1	心理検査や心理療法やカウンセリングの基礎としての関わり技法を中心に、実技を通して学ぶ。			○	○	○	○	○	
46	健康福祉学部	専門教育科目	理学療法学概論	HPT-113-1	理学療法学の概要および基本的知識について学習し、理学療法士の資質などを考え、理学療法業務を理解する。			○	○	○	○	○	
47	健康福祉学部	専門教育科目	基礎理学療法学	HPT-114-1	理学療法に関する基本的な理論を学ぶ。		○	○	○	○	○	○	
48	健康福祉学部	専門教育科目	理学療法学基礎実習	HPT-220-1	理学療法に関する基本的な技術を、実技を通して学ぶことができる。臨床現場における理学療法見学を含む。		○	○	○	○	○	○	
49	健康福祉学部	専門教育科目	理学療法機器技術学	HPT-221-1	理学療法で使用する検査・測定機器、治療機器を適切に使用するための基礎的事項、注意事項、使用上の技術などを学ぶ。			○	○	○	○	○	
50	健康福祉学部	専門教育科目	筋・骨格系理学療法学	HPT-222-1	運動器疾患に対する理学療法について基本的な技術を学ぶ。		○	○	○	○	○	○	
51	健康福祉学部	専門教育科目	筋・骨格系理学療法学実習	HPT-223-1	筋骨格系疾患として理学療法士が対象とする主な疾患を取りあげ、その理学療法について知識と技術を学ぶ。		○	○	○	○	○	○	
52	健康福祉学部	専門教育科目	中枢神経系理学療法学	HPT-224-1	脳卒中片麻痺患者の病態・評価・治療法を学習し、エビデンスに基づいた理学療法の概要を理解することを授業目標とする。				○	○	○	○	
53	健康福祉学部	専門教育科目	中枢神経系理学療法学実習	HPT-225-1	中枢神経障害の代表的疾患として脳血管障害、パーキンソン病、脳性まひなどを取り上げ、これらの疾患の理学療法について学ぶ。				○	○	○	○	
54	健康福祉学部	専門教育科目	日常生活活動学	HPT-226-1	生活していく上で毎日繰り返される基本的な生活動作について、運動学的視点と生活や活動の視点から理解する。		○	○	○	○	○	○	
55	健康福祉学部	専門教育科目	機能・能力診断学	HPT-227-1	神経・筋骨格系疾患の運動機能障害の評価方法である徒手筋力検査法(manual muscle testing, MMT)の原理・手順・方法を学び、その知識と技術を修得することができる。		○	○	○	○	○	○	
56	健康福祉学部	専門教育科目	機能・能力診断学実習 I	HPT-228-1	理学療法士として患者の身体的な問題点を把握するための一連の評価の課程を理解し、実施できるようになる。		○	○	○	○	○	○	
57	健康福祉学部	専門教育科目	機能・能力診断学実習 II	HPT-229-1	理学療法士として患者の身体的な問題点を把握するための一連の評価の課程を理解し、実施できるようになる。		○	○	○	○	○	○	
58	健康福祉学部	専門教育科目	運動学実習	HPT-31-1	運動学 I・II で学んだ知識について、観察や計測機器を用いて分析することを実践し運動学に関する事象の理解を深める。		○	○	○	○	○	○	
59	健康福祉学部	専門教育科目	物理療法学	HPT-311-1	温熱、寒冷、光線などの物理的手段が生体に与える影響について学び、さらにこれらの手段を治療方法として用いる場合の具体的方法、適応と禁忌について学び、その知識と技術を修得することができる。		○	○	○	○	○	○	
60	健康福祉学部	専門教育科目	物理療法学実習	HPT-312-1	物理療法学を行う上での、基礎的な物理学的・生理学的基礎を理解した上で、実際の電気療法・水中運動療法・牽引療法を安全に実施できるようにする。		○	○	○	○	○	○	
61	健康福祉学部	専門教育科目	神経・筋系理学療法学	HPT-313-1	筋原性および神経原性疾患の病態の理解と、理学療法における評価法、治療プログラム作成、実施法について学習する。			○	○	○	○	○	

健康福祉学部理学療法学科カリキュラム・マップ

■ 専門教育科目

提供	a.科目群 (基礎科目群)	b.授業科目名	c.ナンバリング コード	獲得すべき学修成果 (d.+ e.)								
				d.知識・理解及び技術		e.普遍的に有用性を持つ能力						
				専門分野の基本的な知識・理解及び技術	幅広い教養としての知識・理解	コミュニケーション能力	情報活用能力	総合的問題思考力	論理的思考力	能動的学修姿勢	倫理観、 社会的責任の自覚	異なる文化・ 社会への理解
				1年次からの系統的な専門分野の学習、および臨床実習、卒業研究を実施することにより、卒業時に理学療法士国家試験受験資格が取得できる。	基礎医学、臨床医学、および理学療法学の専門教育を通して、それに取り組む能動的学修姿勢を身に付けるとともに、これらの課題を研究する過程で医療職としての論理的思考力を鍛え、基本的な医療関係の知識を活用して問題解決を探る総合的な思考ができる。	自らの考えや疑問を相手に分かり易く伝えるとともに、ほかの医療関係職種との議論を通して協調しながら理学療法を行うことができる。	情報通信技術を用いて、医療における情報を収集・分析し、効果的かつ正しく活用することができる。	持っている知識、能力等を総合的に活用しながら、多角的な視点から物事を思考し、対象者の医療的問題の本質を見極め、それに取り組むことができる。	論理的展開を的確に理解し、自らの考えを論理的に組み立てることができる。	自ら解決すべき問題・課題を見つけ、それに取り組む姿勢を備えている。	医療職としての高い倫理観を持って、社会に対し主体的に関与する責任を自覚している。	異なる文化的背景を持つ人・国・地域・社会等への理解を深める。
62	健康福祉学部	専門教育科目	神経・筋系理学療法学実習	HPT-314-1	背髄損傷、末梢神経損傷、筋原性疾患、神経原性疾患についての病態と障害を理解し、理学療法評価、理学療法プログラムの立案と実施ができるようになる。	○	○	○	○	○		
63	健康福祉学部	専門教育科目	義肢装具学	HPT-315-1	下肢装具・体幹装具の原理、種類、適応、チェックアウトについて学ぶ。		○	○	○	○		
64	健康福祉学部	専門教育科目	義肢装具学実習	HPT-316-1	義足の種類、各種パーツとその特性、異常歩行の原因の究明とその修正方法を習得する。下腿装具の原理、種類、適応について学ぶ。		○	○	○	○		
65	健康福祉学部	専門教育科目	徒手技術学 I	HPT-317-1	小児領域の理学療法に関する技術を学ぶ。		○	○	○	○	○	
66	健康福祉学部	専門教育科目	徒手技術学 I 実習	HPT-318-1	理学療法の基本となる徒手理学療法に重点を置き、それらの特殊技術を用いた治療方法を疾患別に応用できることを学習目標とする。	○	○	○	○	○		
67	健康福祉学部	専門教育科目	徒手技術学 II	HPT-319-1	整形外科および中枢神経系疾患に対して使用されるPNFの理論・技法を理解し、基本的手技を施行できることを授業目標とする。		○	○	○	○		
68	健康福祉学部	専門教育科目	徒手技術学 II 実習	HPT-320-1	成人の脳障害者に応用可能な技術を中心に急性期～慢性期に至るまでに合わせて治療を展開する基本を習得する。	○	○	○	○	○	○	
69	健康福祉学部	専門教育科目	心肺系理学療法学	HPT-321-1	心肺系(呼吸循環系)の基礎、エネルギー代謝、エネルギー消費量の推定法、糖尿病の病態・評価・理学療法について学び、その知識と技術を修得することができる。	○	○	○	○	○	○	
70	健康福祉学部	専門教育科目	心肺系理学療法学実習	HPT-322-1	虚血性心疾患などの循環器疾患と肺気腫などの呼吸器疾患患者に対する急性期および慢性期の理学療法を学ぶ。		○	○	○	○		
71	健康福祉学部	専門教育科目	小児理学療法学	HPT-323-1	小児領域の理学療法に関する理論について学ぶ。		○	○	○	○		
72	健康福祉学部	専門教育科目	高齢者理学療法学	HPT-324-1	加齢の生理変化、身体的・心理的特性を理解し、高齢者に多く認められる疾病と障害を理解し、その特性に対応した理学療法的アプローチを学習する。		○	○	○	○		
73	健康福祉学部	専門教育科目	臨床運動学	HPT-325-1	運動学、運動学実習で習得した知識技術を理学療法対象疾患に応用し、それぞれの疾患について運動学的に考察する。		○	○	○	○		
74	健康福祉学部	専門教育科目	日常生活活動学実習	HPT-326-1	日常生活活動学で学習したことを基に、理学療法の対象となる疾患について評価方法と指導方法を習得する。	○	○	○	○	○	○	
75	健康福祉学部	専門教育科目	理学療法学セミナー	HPT-327-1	専門教育科目の知識を統合してPBL形式で疾患別に妥当な理学療法プログラムの作成ができることを目標にする。	○	○	○	○	○	○	
76	健康福祉学部	専門教育科目	理学療法研究法	HPT-49-1	理学療法に関する研究の成果としての研究論文を精読できるように研究に関する方法論について学習する。	○	○	○	○	○	○	
77	健康福祉学部	専門教育科目	地域理学療法学	HPT-46-1	地域理学療法の考え方、施設(介護老人保健施設、介護老人福祉施設、通所施設など)、在宅での理学療法および制度に関する知識・技術を習得する。	○		○	○	○	○	
78	健康福祉学部	専門教育科目	職業倫理職場管理学	HPT-47-1	臨床の場で理学療法士が理解しておくべき法律・制度・具体的事例による演習を通して質の高い職業倫理観、管理方法、研究法を身につける。		○	○	○	○	○	
79	健康福祉学部	専門教育科目	生活環境学	HPT-48-1	生活障害のある障害者・高齢者の疾患・障害特性に応じた生活環境整備の手法を習得する。		○	○	○	○		
80	健康福祉学部	専門教育科目	卒業研究	HPT-411-1	研究法に関して具体的に学ぶ。	○	○	○	○	○	○	
81	健康福祉学部	専門教育科目	運動学習	HPT-413-1	運動学習理論の歴史的展開と基本概念を学び、運動を学習するうえでの理学療法への応用について考察できるようになる。		○	○	○	○		
82	健康福祉学部	専門教育科目	代謝系理学療法学	HPT-415-1	代謝系疾患特に糖尿病の病態を理解しこれに対応した理学療法の実践について学習する。		○	○	○	○		
83	健康福祉学部	専門教育科目	症例研究法	HPT-412-1	動器疾患の症例に対する全身の筋バランスの診方とインバランスの修正方法について講義と実技を行う。また、症例提示によるグループ討論を行う。							
84	健康福祉学部	専門教育科目	スポーツ系理学療法学	HPT-416-1	スポーツ外傷・障害に対する理学療法評価・治療について学ぶ。スポーツ選手が復帰するまでの過程として、メディカル・リハビリテーションからアスレティック・リハビリテーションに至る段階的リハビリテーションについて学ぶ。	○	○	○	○	○	○	
85	健康福祉学部	専門教育科目	高次神経機能障害理学療法学	HPT-418-1	高次神経機能障害の主要な症候に関する評価の実際と基本的治療理論とその応用について理解する。		○	○	○	○		
86	健康福祉学部	専門教育科目	障害者とスポーツ論	HPT-44-1	障害特性の理解と実際に行われているスポーツ活動についての知識を得て、障害に合わせたスポーツの提案やレクリエーションの提案ができるようになる。	○	○	○	○	○	○	○
87	健康福祉学部	専門教育科目	地域理学療法学実習	HPT-417-1	地域理学療法、地域リハビリテーションの実際を講義、見学実習等により学ぶ。	○	○	○	○	○		
88	健康福祉学部	専門教育科目	機能・能力診断学臨床実習	HPT-230-1	臨床実習指導者の指導・監督の下で、理学療法の基本的な評価方法を体験し理解する。	○	○	○	○	○	○	○
89	健康福祉学部	専門教育科目	総合臨床実習 I	HPT-328-1	臨床実習指導者の指導・監督のもとで、理学療法の基本的な評価から治療までの一貫した方法を体験し理解する。	○	○	○	○	○	○	○
90	健康福祉学部	専門教育科目	総合臨床実習 II	HPT-410-1	臨床実習指導者の指導・監督のもとで、理学療法の基本的な評価から治療までの一貫した方法を体験し理解する。	○	○	○	○	○	○	○